要旨版

令和元年度横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部会
議事録

１　開催日時　　令和元年８月１日（木）　午後１時 30 分～

２　会　　場　　ウエルシティ市民プラザ３階　第１研修室

３　出席者

委　員　嘉山 静子、田中 浩二、林 但、三屋 公紀、揚箸 明朗、吉村 優、
渡部　月子
（敬称略、五十音順）

事務局　　小林　利彰：保健所長
脇　範泰　：保健所健康づくり課長
梅澤　徳之：保健所健康づくり課健康対策担当課長
角田　幸代：保健所健康づくり課係長
長谷川　美千代：保健所健康づくり課主任
加藤　貴美子：保健所健康づくり課主任
矢内　涼子：保健所健康づくり課主任
出雲　晶子：保健所健康づくり課主任
上村　明花：保健所健康づくり課担当者

一般傍聴人　　１名

４　欠　席　者　田中 和美

５　開　会　　事務局（保健所健康づくり課長）が司会となり開会した。

６　部会員の紹介

７　挨拶

８　事務局職員の紹介　事務局職員が自己紹介した。

９　部会長の選出・職務代理者の指名

部会長として三屋部会員を選出し、職務代理者として楊箸部会員を指名した。

１０　配布資料の確認

１１　本部会の流れについて事務局から説明

これより先は、部会長による議事進行で行われた。

１２　議　事

(1) 健康増進計画・食育推進計画の中間評価及び一部改定の経過について

・事務局が「健康増進計画・食育推進計画の中間評価及び一部改定の経過」について説明した。

・部会長より意見、質問等を求めた。

特になし。

(2)「健康増進計画・食育推進計画（健康・食育推進プランよこすか）平成 30 年度進捗状況と令和元年度取り組み」等について

①事務局が計画の概要・進行管理表の変更について説明した

・部会長より意見、質問等を求めた。

特になし。

②事務局が「循環器疾患・糖尿病」の分野、「がん対策」について説明した。

・部会長より意見、質問等を求めた。

特になし

③事務局が「健康づくりを目的としたネットワーク」の分野について説明した。

・部会長より意見、質問等を求めた。

特になし

④事務局が「食育」、「栄養・食生活」の分野について説明した。

・部会長より意見、質問等を求めた

部会員意見　地場産物というのは横須賀市内の農業あるいは漁業からか、もしくは三浦半島からか。

事務局回答　保健体育課の事業だが、三浦半島から採れる野菜等を給食で使うという取り組みを行っている。

部会員意見　海も多いので海産物などか。

事務局回答　ひじきやわかめなどはいいのだが、魚の切り身等になると地場産物は難しい。

・部会長より意見、質問等を求めた。

部会員意見　学校給食について、全国的に時間が短いというような報道が見受けられるが、横須賀市内についてはどうか。

事務局回答　議会で取り上げられたことがあり、時間が短いので長くしたいという質疑が教育委員会に出たと記憶しているが、前に何分で今が何分か、といったところは今は承知していない。

部会員意見　急いで食べて次の午後の授業に行くとすると、食育も何もない気がするということや、歯科検診の際に午前と午後に行いたいと伝えても、時間がなくて歯磨きができないので、午前だけにして欲しいという話になってしまう。食育という点では食後の後片付けのこともそうなのだが、歯磨きのことまで考えていただけたらなと思う。

⑤事務局が「身体活動・運動」の分野について説明した。

・部会長より意見、質問等を求めた

部会員意見　26 ページに県立保健福祉大学との共催で実施していたラジオ体操の講習会が平成 31 年度は予算が取れないためにやめると書かれているのだが、予算が取れなかった理由と、今後どのような方法で実施していくのかわかれば教えていただきたい。

事務局回答　保健所健康づくり課にもラジオ体操という共通部分はあるが、スポーツ振興課の予算や事業の方向性等はスポーツ振興課で決めているため、それに関す

る詳細は聞いていない。また保健所健康づくり課でも講座を見直し、もう少し地域に根付いた活動を中心にすることになっている。ただ、ラジオ体操のサポーターも地域にたくさんいらっしゃって、実際にどうなっているのかというお話もいただいている。スポーツ振興課にどういう意見が届いているかはわからないのだが、サポーターの意見を反映させて講習会の実施を要望もしたいと思うが、スポーツ振興課からは普及啓発の仕方を検討するという回答を受けただけだった。

部会員意見　今回の報告でいくと、保健所健康づくり課でも体操の教室を見直して大きなイベント型はやらず、スポーツ振興課の方も講習会はやらないということで、地道に活動を広げていくことは大事ではあるが、一斉に集まる講習会というのも最初の入り口としては大事だと思っている。この計画も 10 年計画としてラジオ体操を入れて成果が上がっていて、ラジオ体操活動グループやサポーターも増えてきているのに、今ここで両方とも講習会やイベントをやめていくというのはどうなのか、と感じた。たまたま私の大学が会場を貸しているだけなので、やらないのであればそれで構わないのだが、運動を推進していくのであれば違う方法を考えているのか、引き続きラジオ体操による運動をベースに運動を推進していく方針なのかを聞きたい。ここで急に２つともが落ちていくのは気になるところだと思う。

事務局回答　事業を見直すにあたり、非常に悩んだのだが、ラジオ体操のグループ登録はなんとか増やしていきたいという思いがある。先ほど事務局からも報告があったが、実際はイベントを実施したからというよりは、地域で開催している小規模な教室等で、身近な顔が見える中でグループワークをしたり、グループ登録の良さの話を交えて情報交換を行ったりしていることがグループの登録につながっている。ラジオ体操のイベント開催は難しいが、ラジオ体操以外の運動の講座の中に必ずラジオ体操のことも入れて啓発していく予定。毎日 NHK で放送しているのを観て地域で行ったり、テレビを観ながら一人でやるのは運動を定着させるにはとてもいいツールなので、縮小しているようなイメージがあるかもしれないが、地域の活動として続けていきたい。

部会員意見　イベントをしたり、ウオーキングに合わせて健康教育を実施したり、またサポーターのフォロー教室を開催したりという地道な活動の成果が目標を上回って見えてきているので、ぜひそのような地道な活動を今後も継続していただきたい。

⑥事務局が「休養・こころの健康」の分野、「自殺対策計画」について説明した。

・部会長より意見、質問等を求めた。

特になし

⑦事務局が「喫煙」の分野、「受動喫煙対策」について説明した。

・部会長より意見、質問等を求めた。

部会員意見　学校、病院、行政機関は敷地内禁煙となっているが、屋内でも良いのか。

事務局回答　敷地内なら良いが、区画をすること、喫煙可能の表示を掲げることが条件となる。先程、出入口で人通りが多い場所には設置できないというような言い方をしたが、国等々の通知を見ると、出入口から何メートル離れていること、などの明確なことは全く示されていない。そのため現状では厳しいものなのかどうかわからない法律だというのが実態。

部会員意見　敷地内禁煙となっているので地面上は設置できないと思っていた。

事務局回答　敷地内といっても行政機関と民間が一緒に入っている複合施設等もあるので、判断が難しく、丁寧に相談に乗っていかなければならない。少し誤解があるのだが、この法律はたばこを吸っている人に禁煙を勧めているものではなく、あくまで受動喫煙防止を趣旨としていることを理解していただきたい。

⑧事務局が「飲酒」「歯・口腔の健康」の分野について説明した。

・部会長より意見、質問等を求めた。

特になし

（３）事務局が「今後のスケジュール」について説明した。

・部会長より意見、質問等を求めた。

部会員意見　かなりの課にまたがり活動していることが良くわかった。そこで庁内ワーキングという話があったが、年何回くらい開催しているのか。

事務局回答　庁内ワーキングは本部会で報告する資料を提出してもらう５月くらいに１回開催している。

部会員意見　自分の課の業務は明確になっていると思うが、課が多いため横の連携が取れず、だぶっているところが生じたり、逆に穴があく危険性がある。そのため本当に年１回の庁内ワーキングでうまくいくのかも、検討していただきたい。

事務局回答　昨年もこの部会の意見をどうやって担当課にフィードバックしていくかというご意見をいただいたが、この部会で出た意見は議事録と併せてワーキングメンバーに報告し、担当課に関連するところは確認してもらっている。また、関連する内容についても、担当課同士の小規模な話し合いは比較的細やか行っている。たばこについてはポイ捨て防止及び環境美化を推進する条例があり、又、食品ロスも関係のある資源循環推進課と話をしている。病気に関してはこころの健康係、高齢福祉課とは介護予防の関係など、小規模に話し合っている。全体の会議としては庁内ワーキング１回なのだが、小規模なものをその都度テーマごとに開催している。

部会長　確かに多岐にわたっているので、個々の話し合いで進めていただきたい。

・部会長より意見、質問等を求めた。

部会員意見　健康寿命の延伸という目標を掲げる中で、例えばどれくらい健康寿命が延び

ているのかや、がんの死亡率や、がんの中でもどのがんが一番多いのか等を、平成 25 年からやっているのであれば、グラフ等でその時点からの変化を示していただきたい。本当に微かですぐ伸びるわけではないと思うのだが、これくらいこのことをやって、これくらい健康寿命が延びている、と見える形で提示できれば、わかりやすいのではないかと感じた。

事務局回答　昨年度は直近値をお出しできなかったので、資料３に可能な値は示してあるが、事務局も今回、進行管理表を検討するに当たり、評価をどうするか考えた。目標の評価指数についても、目標を達成すれば A だと考えられるが、事業を実施して即、目標達成できるものとできない評価指標がある。そのため、予定していた事業の取り組み状況を評価すれば、毎年の進行管理として機能するのではないかということで、評価を３段階に分けて検証してみた。今回の評価指数は、目標達成の ABC ではなくて、事業の実施状況に対する ABC であり、これは他都市のものを参考にさせていただいた。ただ委員のおっしゃる通り、事業をやってすぐにそれが数値に反映されるわけでもない。今回の進行管理に関しては、次回の計画の改定に向けて、評価指標自体の出し方の検討も視野に入ってくるので、評価の仕方についてもご意見をいただければありがたい。また併せて、出せる数値については出して、できるだけわかりやすいように提示させていただき、ご意見をいただきたい。

部会員意見　直近だけではなくて、その推移が知りたい。

部会員意見　49 ページの表のようなものの積み重ねを出してもらえると良い。

部会長　11 ページだと平成 27 年までの数値になっているが、それ以降のものはあるのか。

事務局回答　把握している。死因別の死亡者数も毎年、衛生年報で出ているので、それは示すことができる。経年的に見ることができればいうことだと思うが、検討させていただく。

部会員意見　提示するのは難しいか。

事務局回答　健康寿命を出すのはなかなか難しく、毎年は出していないのだが、できるだけ新しい数値が示せるようにしたい。

部会長　11 ページのようなものなら簡単に示せるか。

事務局回答　可能だと思う。

・部会長より意見、質問等を求めた。

部会員意見　３点確認したいことがある。１つはラジオ体操に関してだが、スポーツ振興課の協力しているスポーツ推進協議会では、ラジオ体操の指導者の講座は毎年開催していて、その人たちが地域でどれくらい活動してるのか、データで調べたわけではないのだが、私が見て回っている範囲では多くの人たちが率先して活動している様子。また、保健所で開催している講習会のフォローアップ研

修に我々の仲間が参加しているのは、はっきり確認しているので、先ほど心配だと言われた部分もあるが、微力ながらに我々の分野から取り組んでいることがあるとお伝えしたい。２つめは先ほど質問させていただいたのだが、様々な場面で多岐にわたる部分があって、縦割りになっている。例えば高齢福祉課の方等に我々スポーツ推進員がお手伝いすることはありませんか、とお話をしても、とりあえず今のところはあなたたちにお願いすることはないよ、というふうに言われる。これに関しては根気よくやっていきたいと感じている。３つめは冊子の 22 ページにある中間報告で、悪化している部分が気になった。循環器や栄養・食生活など、端的にいうとこういうことをしてるよ、という具体的な取り組みを、わかる範囲で教えていただきたい。

事務局回答　健康保険課での取り組みになるが、特定健診やデータヘルス計画、そして一昨年に糖尿病の重症化予防プログラムができたこともあって、重症になる前から指導の対象とし、案内の枠を広げた。また、保健所の健診センターで行っている特定保健指導の回数と対象者も増やして各担当が進めている。今は高齢の方も大変多いので、介護予防と保健事業を併せて、重症化にならないようにデータと突き合わせながら、取り組もうと関係の部署で話し合っている。今回の循環器疾患や糖尿病予防の数値目標の指標が健康保険課から提供してもらっている国民健康保険の数値のため、次回の評価の指標なども含めて検討が必要だと考えている。

・部会長より意見、質問等を求めた。

部会員意見　母親の立場で聞かせていただいた。市のプレママ教室や離乳食教室に参加した際、参加者が少ないところが多かったので、なぜなのか理由を考えていた。０・１・２歳くらいの子どもたちが集まる施設でも、すぐに保育園に入る子どもと、それと同時に仕事復帰する母親が多く、施設の利用数が減っていると聞いていて、昼間の時間、しかも平日は利用数が減ってしまうのかなと思った。一方で、育休を取る父親が増えてきているようだが、父親がそのような場に来るのは、とても勇気がいると思うので、妊娠中、あるいは出産後の母親を支えられるようなものがあると、少し夫婦仲にも良いだろうし、参加者も増えるのではないかと思った。

事務局回答　プレママプレパパ教室にご参加いただいたという話だが、こども健康課からの数値では、半日コースの教室にご両親でいらしていることが多いとのことだった。

部会長　何ページ目に記載してあるのか。

事務局回答　８ページに記載している。平日よりも休日に多く開催していて、平日が 12 回、土日が 20 回開催している。参加人数は記載していないが、後で担当課に確認したところ、平日の 12 回に 213 人参加、土日の開催に 433 人がご参加いただ

いている。こちらでわかる範囲は以上となる。

１３　閉会

（以上）